

LGBTQ+の
シンボルカラー

「虹色」に

市庁舎・JR町田駅前を
ライトアップ!



一人ひとりを尊重して自分らしく

～町田市パートナーシップ宣誓制度スタートから一年余り～



東京レインボープライド2024
多摩地域の自治体と共同で出展した際の
レインボーストづくりの
ワークショップ!

町田市では、2023年4月1日から性自認及び性的指向を理由とする偏見及び差別がない社会の実現を目指して、パートナーシップ宣誓制度を導入し、これまでに13組の方が宣誓しています(11月30日現在)。2024年8月に実施した、性の多様性に関する市政モニター※のアンケートで、当事者の声を聞きたいとのご意見をいただきました。そこで今号の1・4面では町田市でパートナーシップ宣言を行った方に、当事者として感じる生きづらさや社会に望むことなどについて伺ったお話ををご紹介します。また、町田市ホームページでは、紙面で紹介できなかった皆さんの声を掲載していますので、ぜひご覧ください。この機会に性の多様性について、もっと身近に感じ、考えてみませんか。



【町田市パートナーシップ宣誓制度とは】

同性のカップルなど同性の二人が自由意思により、お互いをかけがえのないパートナーであると宣誓したことを、町田市が証明する制度です。

※市政モニター……市民の皆様のご意見や市民のニーズを把握し、市政へ反映させていくために、モニターの方々に行うアンケート調査です。

～町田市パートナーシップ宣誓者の皆さんに話を聞きました!～

パートナーシップ宣誓をした理由

同性パートナーと人生を共にするカップルがいることを可視化するためです!

パートナーと15年間お付き合いし、我々の感情が異性愛者の方と変わらないと確信したからです!

宣誓をしてよかったと感じること

親にカミングアウトする良いきっかけになりました!

宣誓制度が自己認識の自信を与えてくれました。私たちの感情に対する最高の証明です!



LGBTQ+当事者であることで、生きづらさを感じたことはありますか? → 全員「ある」

その生きづらさとはどんなことですか。

カミングアウトできず、周りの人や親にまでウソをつかなければいけないことです。全ての周囲の人に正直に話せる世の中なら、どんなに楽だろうと、心から強く強く思います!

公的な契約が必要となる場面で不便さ(賃貸、住宅ローン、婚姻)を感じます。

当事者でなくても生きづらさを感じることはあると思います。その違いはよくわかっていません。

